

# 令和6年度 定期健康診断の結果

## 1 身体測定

### ① 学年別身長の平均値(単位:cm)

	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	本校	東京										
男子	117.3	117.3	124.0	123.4	127.5	128.7	133.4	134.7	140.4	140.6	146.0	146.7
女子	116.9	116.3	122.1	122.6	127.3	129.0	134.7	135.1	141.0	142.1	148.5	148.7

### ② 学年別平均体重の平均値(単位:kg)

	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	本校	東京										
男子	21.3	21.7	24.9	24.6	25.7	28.0	29.7	32.0	34.4	36.4	38.0	40.2
女子	21.1	21.3	23.0	24.1	25.5	27.3	29.9	30.8	33.2	35.4	39.8	40.7

身長は、1年女子、2年男子を除き、東京都の平均よりやや低い。

体重は、2年男子を除き、東京都の平均よりやや軽い。

※ 身長・体重は、平均値と比べるだけでなく、一人一人の発育状況を成長曲線に照らし合わせ評価することが重要である。

## 2 視力検査

### ① 学年別視力 (単位:人)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
A (1.0以上)	72	90	76	79	83	79	479
B (0.7~0.9)	29	24	28	26	25	15	147
C (0.3~0.6)	12	15	18	16	10	14	85
D (0.3未満)	4	5	7	5	14	6	41
眼鏡使用者	4	5	12	17	30	49	117
	121	139	141	143	162	163	869

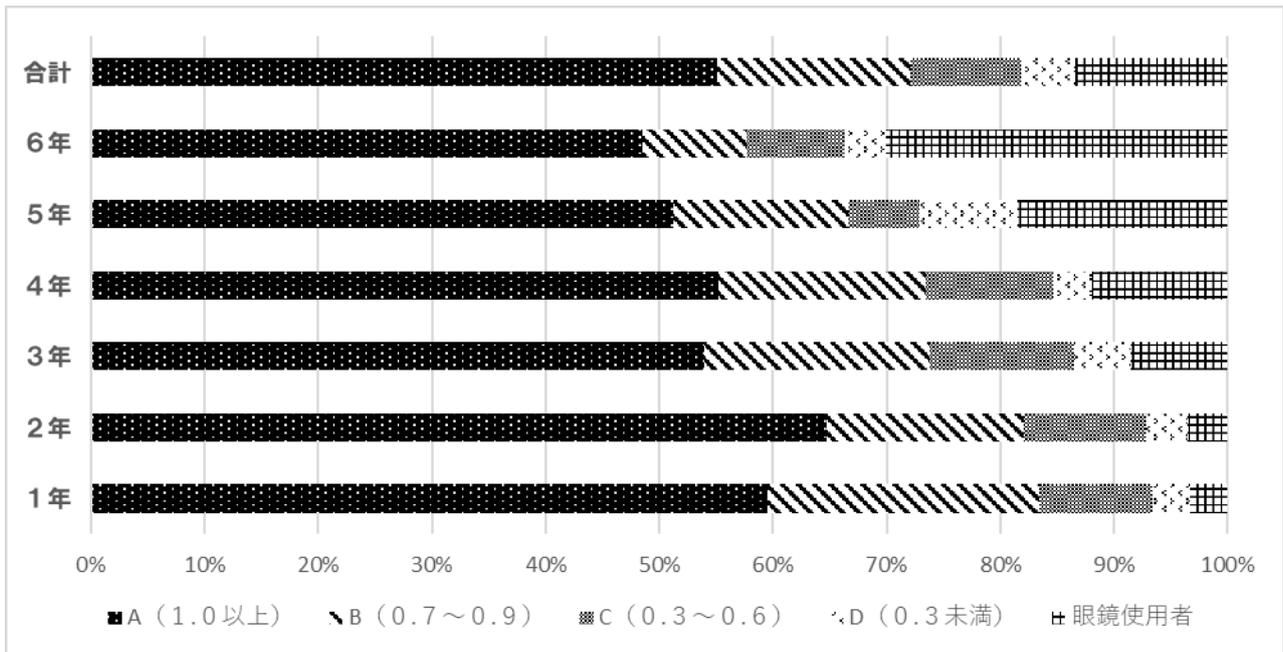
### ② 学年別視力 1.0以上(A)の者の割合年次比較(単位:%)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
本校R6年度	59.5	64.7	53.9	55.2	51.2	48.5	55.1
本校R5年度	71.7	54.9	61.1	50.0	47.8	38.4	53.6

### ③ 眼鏡使用率

0.13%(R5年度:0.11%) 眼鏡使用者の視力 0.1以上は 0.2%(東京平均 0.5%)

## 学年別 視力状況



### <課題>

- ゲーム、パソコンなど電子機器を使用する時間が増加するなどの生活習慣の変化により、視力低下の低年齢化が進んできていると考えられる。
- 統計的に10歳頃より矯正が必要となり、眼鏡使用の割合が増える。

### <予防>

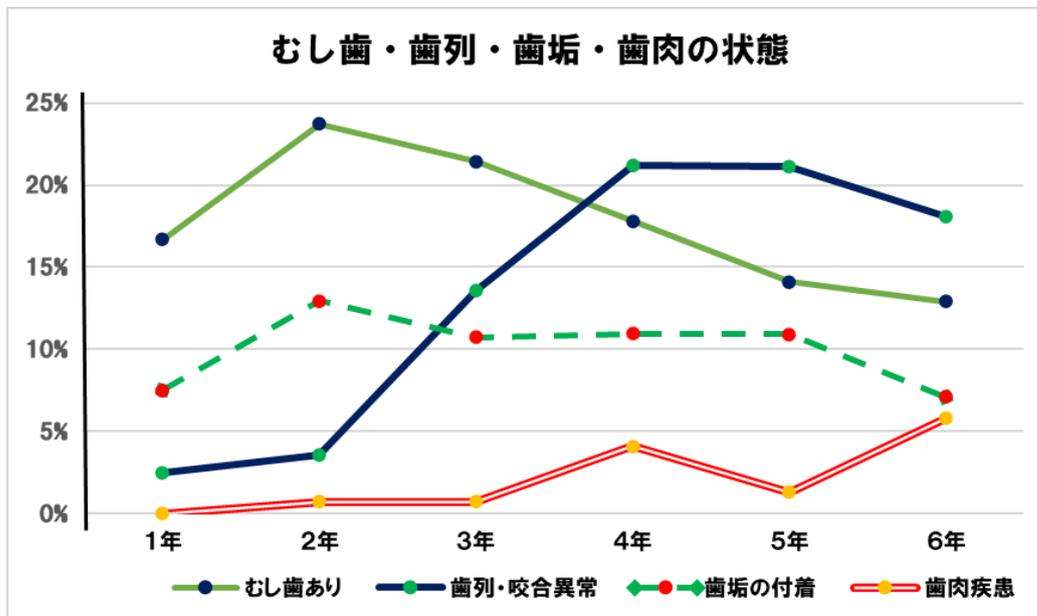
- 近視を予防するためには、正しい姿勢で学習することが大切である。
- 30分程近くの作業をしたら、10分程遠くを見て眼の筋肉の緊張をとることが大切。
- 生活習慣を見直し、外で体を動かす機会を増やすことで近視の予防につながっていく。
- ゲームやパソコンなどの使用時間を管理する。

## 3 歯科検診

### ① 学年別状況 (単位:人)

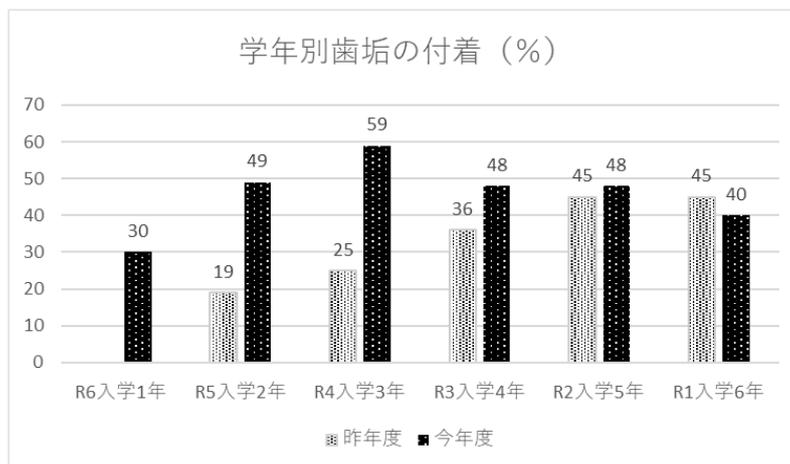
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
むし歯あり	20	33	30	26	22	20	151
歯列・咬合異常	3	5	19	31	33	28	119
歯垢の付着	9	18	15	16	17	11	86
歯肉疾患	0	1	1	6	2	9	19
受検者総数	120	139	140	146	156	155	856

\* 歯列・咬合異常や歯垢の付着、歯肉疾患・・・検診で受診を要すると指導を受けた人数。



## ② 学年別歯垢の付着率前年度比較

(検診で「1.定期的にチェックしてください」「2.受診をお勧めします」と判断された人の合計)



## ③ 学年別東京都比較 (単位:%)

	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	本校	東京	本校	東京	本校	東京	本校	東京	本校	東京	本校	東京
むし歯あり	16.7	9.8	23.7	11.5	21.4	13.5	17.8	14.0	14.1	12.1	12.9	8.7
歯列・咬合異常	2.5	1.4	3.6	2.9	13.6	3.3	21.2	3.4	21.2	3.5	18.1	3.8
歯垢の付着	7.5	1.1	12.9	2.2	10.7	1.8	11.0	3.0	10.9	2.3	7.1	2.9
歯肉疾患	0.0	0.7	0.7	0.9	0.7	1.4	4.1	1.8	1.3	1.7	5.8	1.8

### 学校医(歯科)の先生方より

- 歯垢がとても多いです。自分で磨いているのか親の手を離れている印象を受けました。むし歯の原因となる「食べ残し」が歯の根元や歯と歯のすき間についている人が多いです。歯磨きの習慣、歯磨きの仕方が大切になるので、すみずみまで磨いていきましょう。
- 唾液には、食べ物を分解し口の中をきれいにする働きがあります。唾液がよく出ている人はむし歯が少ないという調査もあります。よく噛むことによって唾液がたくさん出るので、よく噛むことを心がけましょう。
- 口の中を乾燥させないことが大切です。子供たちが時々、口をぽかんと空けて、長時間口が開きっぱなしになっている場面を見ます。口を開けたままにしておくと口の中が乾燥して唾液が乾いてしまいます。また、マスクを長時間していると口の中が乾いてしまいます。口の中が乾かないように気を付け、唾液によって口の中が潤うようにしておくことがむし歯を防ぐ秘訣です。

## 4 耳鼻科検診

- ・異常があった者の割合（単位：％）

	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	本校	東京										
耳疾患	23.8	13.0	27.0	11.1	22.1	9.9	15.2	8.5	13.5	8.2	15.6	7.7
鼻疾患	16.4	11.0	16.1	10.6	19.3	12.6	19.3	12.0	17.4	12.5	11.7	11.7
口腔咽喉頭疾患	0.8	0.2	2.9	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.1

- \* 耳疾患・・・耳垢、耳垢栓塞、滲出性中耳炎など
- \* 鼻疾患・・・アレルギー性鼻炎、急性鼻炎など
- \* 口腔咽喉頭疾患・・・扁桃肥大など

## 5 眼科検診

- ・眼疾患・・・13人(アレルギー性結膜炎、麦粒腫など)

異常があった者の割合(単位:%)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
本校	0.8	2.2	0.7	2.7	0.6	1.9
東京都	3.4	3.8	4.3	4.3	4.1	3.8

## 6 腎臓検診

- ・2次検査対象・・・6人
- ・3次検査対象・・・3人(無症候性血尿のため、経過観察中)
- ・尿糖陽性者・・・2人(受診中。要因として血糖値の上昇や腎臓の働きの低下など)

## 7 結核検診

- ・精密検査対象・・・6人(BCG未接種)

## 8 脊柱検診

- ・2次検診対象・・・6人

